

燦々便り 74

悔るな、、、焦るな

オリンピック、ついに始まりました。

アスリートの活躍は、やはり、感動を与えてくれます。このような状況ですから、テレビでしか見れませんが空気感はずごく伝わります。

年々、暑さは（温暖化）厳しくなり、コロナの蔓延する中でも、スポーツの素晴らしさは十分に堪能できています。

私達が楽しんでいるテニスはコロナにおいては、接触もなく、屋外であるのはありがたかったのですが、この暑さはとても過酷です。

体感温度は 50 度を超えるのですね!! スケボーを見ていて、地面に触れられるのだろうか、転んだら大変! と思ってしまいました。

それでもテニスのダブルスを見せてもらえて、能勢杯でも取り入れることが出来ればと思ったことがありました。それは、私達はまだ、2人で作り上げるゲームが出来ていないな、ということでした。

私達はやっと必死でポーチにでるくらいなのにたいして、レジェンドはペアのボールにたいしての予測もきちっと出来ています。すごいです。

どの競技においても技術力の高さ、人間性の素晴らしさ、十分に満喫しています。また若者の素晴らしさも見せてもらいました。

狭い日本を出て、国際的な感覚を身に着けています。目指すは日本一ではなく、世界一なのです。今回のオリンピックでは、知らないことがまだまだいっぱいあると感じました。

アスリートたちは苦しみを乗り越えたからこそ、人に対する思いやりの心も持っています。反面、私達は日本という素晴らしい国に育ったことによる慢心もあるかもしれないと、反省しました。

復興五輪をもっと考えないと!

でも世界を見据えている若者はこんなにあります。今、世の中に目を向けますと、困難だらけのようです。それでも若者を見た時、明るい光があるのは嬉しいことです。

お知らせ

能勢杯

暑い8月少し余裕を持って過ごしていただきたいと思っております

おかげさまで順調に進んでいます

燦々カップ 予定

8月は休みます。

9月17日（金）

場所 野洲河川コート

10時半スタート

— 募集中 —

すばる杯

10月22日（金）

要綱は別紙にて!

素敵な賞品、楽しんで集めています

いじめ

オリンピックの前、組織委員のなかで何人かの辞任がありました。

私達は多くの先人達の言葉を受け継いでいます。紹介したいと思います

あなたが人からして欲しいと思うことを人にしてあげなさい。

— お釈迦さま —

あなたが人からされて、嫌だと思ふことは人にしてはいけない

— 聖書 —

これらの言葉を道徳の授業にいれられないかと考えますが、どうでしょうか